

石狩は風で地域おこし!

ています。石狩産の再エネがどのように利用されているのか、ご紹介します。



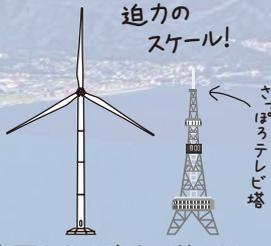
石狩市は
再エネがいっぱい!



太陽光や陸上風力、木質バイオマスなど市内には他にも再エネがいっぱい! なお、市内の小・中学校14校は石狩湾新港地域東側にある株式会社市民風力発電の陸上風力発電機でつくった電気を使用しています!

1基8MWの
洋上風力発電機の
導入は国内初!

迫力の
スケール!



海面からの高さは約196m。

海底ケーブル

石狩湾新港洋上風力発電所

つくった再エネはどこへ?



ここで生まれた電力は、海底ケーブルを通して陸に上がり、石狩湾新港地域内の蓄電施設を経て、各地に送られています。市民の皆さんが今使っている電気もここで生まれた電気かも!

石狩市の
まちに再エネの
メリットをもたらし
取り組み

石狩市は、二酸化炭素排出量の削減以外にも、洋上風力発電所などの再生エネ電源が立地するメリットを市民の皆さんに提供したいと考えています。現在、方向性は大きく3つあります。

一つ目は**持続可能な石狩市の実現**です。現在、REゾーン構想などを通して、民間企業による市内への投資を呼び込んでいます。データセンターなどの再生エネを活用する施設が次々と進出して、新規立地企業から得られる石狩市の収入が、市民サービスの向上や道路・公共施設の整備、教育・福祉の充実など、市民の皆さんの生活を支える土台になればと考えています。

二つ目は**交流人口の増加**です。全国2カ所目となる大規模洋上風力発電所の運転が始まってから、視察や各種研修のために道内外から訪れる人が増えています。特に高校生の見学が増えていて、都内高校の修学旅行を継続的に受け入れることになりました。未来を担う若者たちに石狩市の魅力を発信する機会にもなっていて、将来的な市内への移住・就労につながることを期待しています。

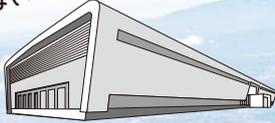
三つ目は**地域産業の振興**です。特に

エネルギーは地産地活の時代。

石狩市は、市内でつくられた再生可能エネルギー（以下、再エネ）を地域の中で活用する取り組みを進め

再エネを求める 企業を呼び込む“REゾーン”

デジタル化には欠かせない
「データセンター」など
重要な施設が集積!



石狩湾新港地域にある「REゾーン」(約100ha)では地域の再エネを100%供給することを目指しています。再エネを利用し環境にやさしい事業を進める企業を誘致することで、市内に新たな産業的なにぎわいをもたらしています。

港と人材!!



国際貿易港「石狩湾新港」と、その背後地には開発面積3,000haに上る工業団地「石狩湾新港地域」が広がり、現在約760社の企業が立地し、約2万人が就労しています。



蓄電施設

REゾーン

洋上風力発電でビジネスチャンス!

地域企業向け ワークショップの開催

2024年10月25日と12月4日に石狩商工会館で、洋上風力を核とした、市内企業のビジネスチャンスを探るワークショップを開催しました。今後も洋上風力発電に関連する業務の受け皿となる「組織体」の構築を目指し、実施していく予定です。



問合せ 企業連携推進課
72・3158

洋上風力発電は大規模な事業であり、建設・物流・製造業から飲食・宿泊なども含めて、多くの地域企業に活躍できるチャンスがあります。現在は、地域企業の皆さんと洋上風力を学び、意見交換を重ねることで、多くの経済効果を生み出すための準備を進めています。石狩市に吹く風や産業的なポテンシャルは、地域の資源です。皆さんと協力しながら、再エネの活用により、住みやすく活気あふれるまちをつくれます。